

2024年度プログラム統括責任者会議

2025年専攻医募集と小児科領域のシーリング

日本小児科学会 専門医制度運営委員会
東京大学医学部附属病院 小児・新生児集中治療部
高橋 尚人



1

内容

- ・ 新専門医制度の歩み
- ・ 専門医機構によるシーリングと専攻医採用状況の解析
- ・ 小児科医師数・専攻医数の変化とシーリングの影響
- ・ 専攻医採用について
 - 2024年・2025年シーリング
 - 研修開始遅れへの対応
 - カリキュラム制
 - 2025年スケジュール

2

内容

- ・ **新専門医制度の歩み**
- ・ 専門医機構によるシーリングと専攻医採用状況の解析
- ・ 小児科医師数・専攻医数の変化とシーリングの影響
- ・ 専攻医採用について
 - 2024年・2025年シーリング
 - 研修開始遅れへの対応
 - カリキュラム制
 - 2025年スケジュール

3

新専門医制度における小児科学会の歩み

専門医機構		日本小児科学会		
		制度	更新	専攻医研修・試験
・ 2014	整備指針確定			
・ 2015		整備基準策定		
・ 2016		更新基準承認		
	新整備指針			
・ 2017		新整備基準承認	新制度移行開始	暫定制度専攻医研修開始
	採用枠制限			新制度募集・東京二次中止
・ 2018			移行2年目	新制度1期生研修開始
	シーリング			2期生募集・シーリング
・ 2019			移行3年目	2期生研修開始
	地域枠			3期生募集・シーリング・地域枠
	カリキュラム制			
・ 2020			移行終了	3期生研修開始
	臨床研究医サブスペ			暫定制度含む試験中止
				4期生募集・臨床研究医
・ 2021	新整備指針(第三版)			サブスペ領域連絡協議会
・ 2022		新整備基準策定・承認		

4

内容

- ・ 新専門医制度の歩み
- ・ 専門医機構による「シーリングと専攻医採用状況」の解析
- ・ 小児科医師数・専攻医数の変化とシーリングの影響
- ・ 専攻医採用について
 - － 2024年・2025年シーリング
 - － 研修開始遅れへの対応
 - － カリキュラム制
 - － 2025年スケジュール

5

専攻医採用実績数 診療科別一覧表

令和6年度第1回 医道審議会
医師分科会 医師専門研修部会
令和6年7月19日

資料1（日本医
学専門医機構）
令和6年7月19日

令和6年3月28日時点 確定値

診療科	平成30年 (2018年) 採用実績	平成31年 (2019年) 採用実績	令和2年 (2020年) 採用実績	令和3年 (2021年) 採用実績	令和4年 (2022年) 採用実績	令和5年 (2023年) 採用実績	令和6年 (2024年) 採用実績
1 内科	2,670	2,794	2,923	2,977	2,915	2,855	2,850
2 小児科	573	548	565	546	551	526	532
3 皮膚科	271	321	304	303	326	348	297
4 精神科	441	465	517	551	571	562	570
5 外科	805	826	829	904	846	835	807
6 整形外科	552	514	671	623	644	651	739
7 産婦人科	441	437	476	475	517	481	482
8 眼科	328	334	344	329	343	310	331
9 耳鼻咽喉科	267	282	266	217	256	203	206
10 泌尿器科	274	255	323	312	310	338	343
11 脳神経外科	224	252	247	255	237	217	219
12 放射線科	260	234	247	268	299	341	343
13 麻酔科	495	489	455	463	494	466	486
14 病理	114	118	102	95	99	93	90
15 臨床検査	6	19	14	21	22	36	18
16 救急科	267	286	279	325	370	408	472
17 形成外科	163	193	215	209	253	234	226
18 リハビリテーション科	75	89	83	104	145	136	153
19 総合診療	184	179	222	206	250	285	290
計	8,410	8,615	9,082	9,183	9,448	9,325	9,454

※黄緑色のセルはシーリング対象の診療科

7

研究結果

令和6年度第1回 医道審議会
医師分科会 医師専門研修部会
令和6年7月19日

資料0
(日本専門医
機構資料)

1. データベース解析

【シーリング設定が専門研修プログラム採用者数に与えた影響の確認】

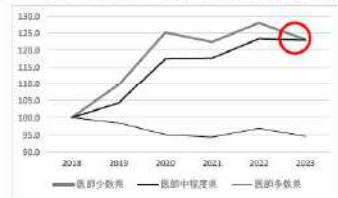
＜新たにシーリングが設定された際の採用者数変化＞

採用年	シーリング設定	採用者数	前年	当年	変化数
2020	あり	あり	1881	1754	-127
	あり	なし	1261	1440	179
	なし	あり	710	586	-124
	なし	なし	13369	14245	876
2021	あり	あり	2220	2194	-26
	あり	なし	119	159	40
	なし	あり	344	270	-74
	なし	なし	15341	15389	48
2022	あり	あり	2378	2476	98
	あり	なし	76	86	10
	なし	あり	-	-	-
	なし	なし	15648	16235	587
2023	あり	あり	2476	2459	-17
	あり	なし	-	-	-
	なし	あり	-	-	-
	なし	なし	16321	16111	-210

表：シーリングの設定状況別にみた採用者数の変化

○ 前年にシーリング設定がなく、当年新規に設定された都道府県・基本領域での採用者数は前年と比較して減少していた。

＜シーリングの有無による都道府県別の採用者数推移＞



上図：シーリングのある
右図：シーリングのない
診療科の採用者数の推移

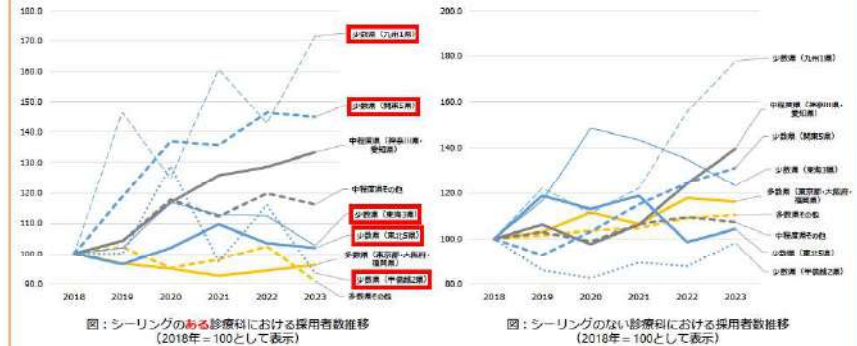


○ シーリングのある領域では、医師多数県における採用数が抑制され、医師少数県及び医師中程度県における採用数が増加していた。

研究結果

1. データベース解析

＜シーリングの有無による都道府県別の採用者数推移＞（詳細）



図：シーリングのある診療科における採用者数推移
(2018年 = 100として表示)

図：シーリングのない診療科における採用者数推移
(2018年 = 100として表示)

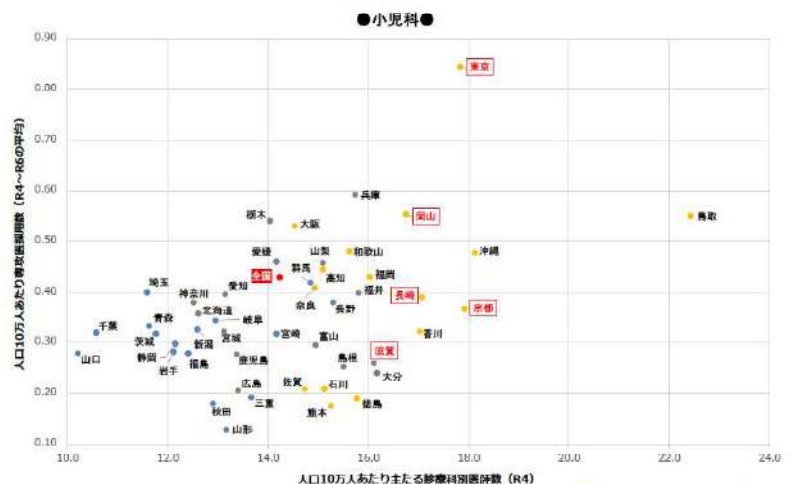
○ シーリングのある領域における医師少数県の採用者数の推移については、地域によるばらつきがあり、増加していない地域も存在する。

医師分科会 資料1（日本専門医機構）
令和6年7月19日

※ 令和5年度厚生労働省医政局医事審議官補助官厚生労働科学特別研究事業
「日本専門医機構における医師専門研修シーリングによる医師採用状況の地域差検証」(研究代表者 海沼健)の結果を基に医政局医事課が作成

10

人口10万人あたり専攻医採用数と主たる診療科別医師数の比較



※主たる診療科別医師数は、『医師・歯科医師・薬剤師統計』（令和4年）の診療科目別医師数（主たる診療科）の人数を算出
※人口10万人あたり専攻医採用数は国によって、国別統計（2022年（令和4年）10月1日現在）を参照

■医師多数県 ■医師中程度県 ■医師少数県
（令和4年7月10日更新・医師数に準拠による）
□シーリング対象都道府県（R6～）

16

シーリング数等の見直しに関する論点

○今後の専門研修制度の検討にあたっては、地域偏在・診療科偏在に配慮したシーリングを実施するにあたり、シーリング対象基本領域の設定や、各都道府県におけるシーリング数の設定方法、総合診療専門医の在り方といった様々な観点があると考えられる。
○その中で、今回は、前回の本部会で示された厚生労働科学研究の研究結果や、現状の都道府県別専攻医採用者数のデータ、都道府県からの意見等を踏まえ、以下の論点についてご検討いただきたい。

【シーリング数の見直しについて】

- ・シーリング対象県については、人口10万人あたり専攻医採用数が全国平均に達していない県もある一方で、全国平均を大きく上回る県もある。
- ・シーリングの厳格化等に関する意見や、各都道府県の診療科別医師数・専攻医採用者数の現状を踏まえ、各都道府県におけるシーリング数の抑制や緩和について、どのように見直すべきか。

【連携プログラム・特別地域連携プログラムの設定の見直しについて】

- ・シーリングのある基本領域については、シーリング対象外となっている医師少数県の採用者数が増加しているものの、地域によってばらつきがあり、特に東北・東海・甲信越地方においては、増加に乏しい。
- ・特別地域連携プログラムが、東北地方等への連携を念頭に設定されたプログラムであることや、激変緩和措置を見直すべきという意見も踏まえ、通常プログラムと連携プログラム、特別地域連携プログラムの設定方法や各プログラムの設定数について、どのように見直すべきか。

34

内容

- ・ 新専門医制度の歩み
- ・ 専門医機構によるシーリングと専攻医採用状況の解析
- ・ 小児科医師数・専攻医数の変化とシーリングの影響
- ・ 専攻医採用について
 - － 2024年・2025年シーリング
 - － 研修開始遅れへの対応
 - － カリキュラム制
 - － 2025年スケジュール

11

小児科シーリング数の推移

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
東京	124	106+17	98+19	98+19+11	98+19+11	98+19+11
富山		5	連携PG枠	特別地域連携PG枠		
石川		5				
福井		5				
滋賀		6+1	7	7	7	7
京都		7+1	9	9	9+2	9+2
鳥取		5+1			特別地域連携PG枠	
岡山		9+1	14	14	14	14
香川		5				
福岡		25+3				
長崎			9	9	9	9
沖縄		9+1				

COVID-19のため前年度を継承

- ・連携PG、特別地域連携PGの配慮(東京30、京都2)あり

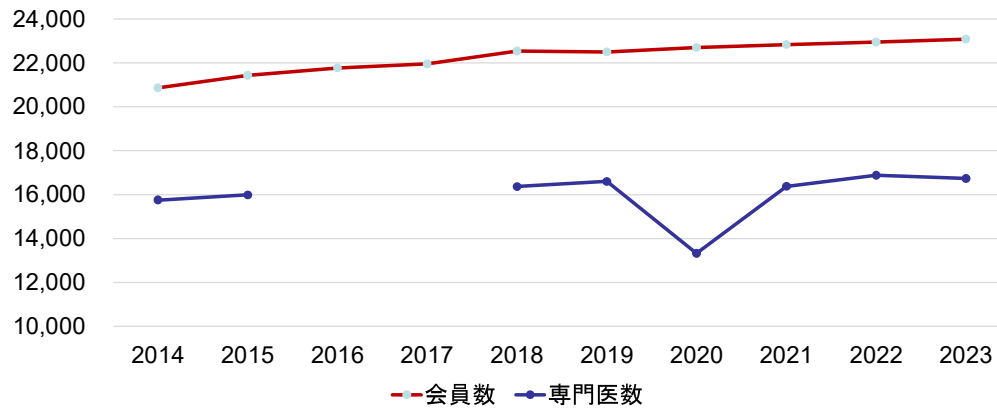
[illegible]

令和4年 三師(医師・歯科医師・薬剤師)調査

令和4年 三師(医師・歯科医師・薬剤師)調査

令和4年 三師(医師・歯科医師・薬剤師)調査

小児科学会会員数・小児科専門医数の推移



プログラム数と専攻医応募

研修開始年	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
全体	157	171	179	186	187	187	187	187
単独PG県	21	13	11	10	10	11	11	10
専攻医応募フルマッチPG	7	18	12	14	12	17	25	16
専攻医応募ゼロ都道府県	3	1	1	0	1	0	2	2

18

専攻医登録者数

研修開始年	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
全体	570	524	542	562	548	565	548	551	526	532
5大都市*	299	268	262	259	242	278	271	256	215	249
東京	124	114	121	130	123	132	127	121	125	110
5都市以外	271	256	280	303	306	287	277	295	311	283
シーリング特別枠削減				東京・福岡二次募集中止	東京-16	地域枠+東京-4, 京都-1	研究医枠4地域枠+京都-1	研究医枠2地域枠+自治医枠9東京-4 京都-2	研究医枠2地域枠+自治医枠6 京都-2	

*5大都市地域：東京、神奈川、愛知、大阪、福岡

関東以北の小児科専攻医採用の推移

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
北海道	21	13	20	17	20	15	25	15	15
青森	1	7	4	7	4	7	4	3	5
秋田	0	4	5	4	1	1	1	1	2
岩手	2	6	1	4	5	0	5	3	2
宮城	8	10	13	11	11	10	9	8	5
山形	5	3	1	4	3	3	1	2	1
福島	4	5	7	5	5	2	7	3	5
茨城	8	4	10	12	9	8	10	6	11
栃木	5	9	11	10	6	9	9	12	10
群馬	5	5	4	6	4	6	5	9	9
埼玉	14	19	16	21	30	21	29	33	26
千葉	19	24	20	31	18	16	22	19	19
東京	114	121	141	123	132	127	121	125	110
神奈川	42	23	24	26	36	38	38	33	34

シーリング

内容

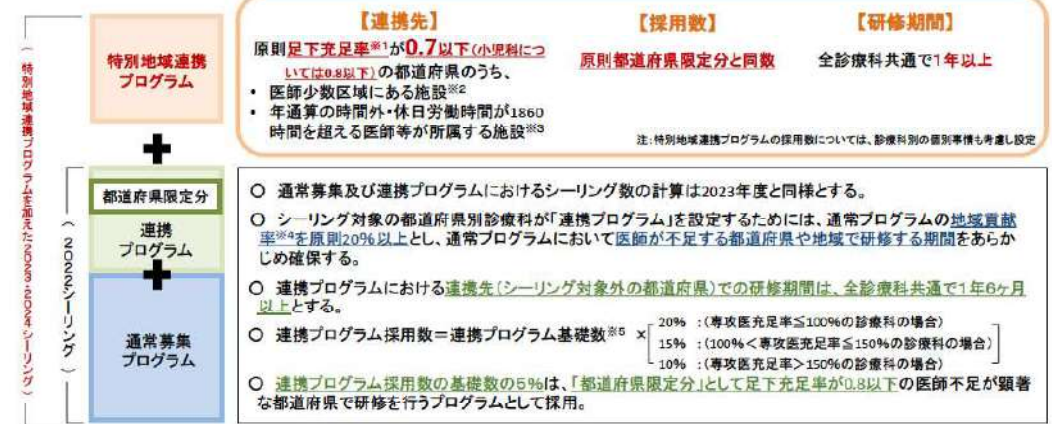
- ・新専門医制度の歩み
- ・専門医機構によるシーリングと専攻医採用状況の解析
- ・小児科医師数・専攻医数の変化とシーリングの影響
- ・今後の専攻医採用について
 - －2024年・2025年シーリング
 - －研修開始遅れへの対応
 - －カリキュラム制
 - －2025年スケジュール

21

2024年度専攻医募集におけるシーリングの基本的な考え方

令和5年度第1回 医道審議会
医師分科会 医育専門研修部会
令和5年6月22日
資料1
(日本専門医
機構資料)

○ 2023年度同様、**足下医師充足率が低い都道府県のうち、医師少数区域等にある施設を1年以上連携先とする特別地域連携プログラム**を通常募集プログラム等のシーリングの枠外として別途設ける。



研修開始の遅れについて（現行）

【資料4-2】

①通常の場合



②自己都合で専門研修の開始が遅れる場合



③特定の理由で専門研修の開始が遅れる場合（6か月までの遅れの場合）



④理由を問わず、初期研修修了が遅れる場合



⑤理由を問わず、既にプログラムに採用されているが、実際の専門研修開始が10月2日以降になる場合
プログラムは一度辞退し、次年度のプログラムに改めて申し込みを行う。

日本専門医機構 5期第4回(通算7回)「専門研修プログラム委員会」「研修検討委員会(プログラム等)」合同会議資料

研修開始の遅れについて（⑤変更部分：2024年度研修開始専攻医より適用）

⑤既にプログラムに採用されているが、特定の理由で実際の専門研修開始が10月2日以降になる場合
プログラムに再度応募する必要はない。

⑤-1 初期研修修了が遅れた場合



⑤-2 研修開始が遅れる場合



※自己都合により実際の専門研修開始が10月2日以降になる場合は、プログラムは一度辞退し、次年度のプログラムに改めて申し込みを行う。

日本専門医機構 5期第4回(通算7回)「専門研修プログラム委員会」「研修検討委員会(プログラム等)」合同会議資料

カリキュラム制

- 2019年3月に専門医機構の整備指針内に「カリキュラム制」が作成された。
- 2020年小児科学会でも「新専門医制度下の小児科領域カリキュラム制(単位制)」による研修制度」が確定し承認された。
- 合理的理由があれば「カリキュラム制(単位制)」による研修が可能となり、2021年にカリキュラム制での研修が可能となっている。
- 規定される対象(合理的理由)は以下の通り。
 - 義務年限を有する医科大学卒業生、地域枠医師
 - 出産、育児、介護、療養で休職・離職するもの
 - 海外・国内留学するもの
 - ダブルボード
 - その他、機構と学会が認めた場合(パワハラなど)
- 単位、認定方法なども細かく規定されている。

カリキュラム制の単位

「基幹施設」または「連携施設」において、「専従」で、36単位以上の研修を必要とする。
「フルタイム」で「1ヶ月間」の研修を1単位とする。
「専従」でない期間の単位は、1/2 を乗じた単位数とする。

	「基幹施設」または「連携施設」で 正規職員として勤務している時間	「1ヶ月」の研修単位
フルタイム	週31時間以上	1単位
非フルタイム	週26時間以上31時間未満	0.8単位
	週21時間以上26時間未満	0.6単位
	週16時間以上21時間未満	0.5単位
	週16時間未満	研修期間の単位認定なし

2025年度専攻区募集スケジュール

■専攻区1次募集

応募期間	2024年11月 1日（金） 正午～2024年11月15日（金） 正午まで
採用調整期間	2024年11月18日（月） 正午～2024年11月26日（火） 正午まで
採用結果通知	2024年11月29日（金） 正午
募集実施確認期間	2024年11月26日（火） 正午～2024年11月29日（金） 正午まで

■専攻区2次募集

応募期間	2024年12月 2日（月） 正午～2024年12月13日（金） 正午まで
採用調整期間	2024年12月16日（月） 正午～2024年12月23日（月） 正午まで
採用結果通知	2024年12月25日（水） 正午
募集実施確認期間	2024年12月23日（月） 正午～2025年 1月 7日（火） 正午まで

■専攻区募集 最終調整期間

応募期間	2025年 1月 7日（火） 正午～2025年 1月22日（水） 正午まで
採用調整期間	2025年 1月23日（木） 正午～2025年 1月31日（金） 正午まで
採用結果通知	2025年 2月 3日（月） 正午